

福井市学校版環境ISO 実施計画書

福井市長 様

私たちの学校は、恵み豊かな環境を守り未来に引き継いでいくために、環境保全に関する学習、教育及び活動を積極的に行って環境にやさしい学校づくりと生命や自然の大切さを理解し郷土を愛するモラルの高い児童生徒の育成に取り組むための実施計画を作成しましたので、福井市学校版環境ISO認定制度による認定の更新を申し込みます。

令和 5年 4月20日

学校名 福井市河合小学校

校長氏名 森嶋 正樹

1 今年度の目標(学校の約束)

- ① 河合地区の環境、地球環境について学習します。
- ② 水や電気などの資源を大切に使います。
- ③ 地区と連携して、清掃活動やゴミの減量・リサイクルに努めます。

2 取組内容

① 環境学習

- ・ 河合地区の自然環境・リサイクルについて、社会科と総合的な学習の時間に学習します
- ・ 図書委員会が「環境の本コーナー」を設置し、環境保護についての興味・関心を高めます。

② 節電・節水等の取組

- ・ 美化委員会が校内放送で、使用していない教室や廊下の照明をこまめに消す(節電)、水を出しっ放しにしない(節水)について呼びかけます。また、節電・節水のポスターを掲示して、節電・節水の意識を高めるようにします。

③ 地域と連携して分別回収・清掃活動

- ・ 美化委員会がポスターを掲示して、ゴミの減量を呼びかけます。
- ・ 美化委員会が、各教室に古紙回収ボックスを設置して、回収します。
- ・ 親子奉仕作業で、保護者や地域の人と協力して、学校の清掃活動に取り組みます。

★ ESDポイント(取組内容の内、1項目についてESDの視点をどのように取り入れるかを記載してください。)

- ・ ③の親子奉仕作業では、様々な年齢の人と協力・協同しようとする態度を育てながら、清掃活動の大切さを理解する。(コミュニケーション・協力)

福井市学校版環境ISO 実施報告書

<p>学校名</p> <h1 style="text-align: center;">河合小学校</h1>	
<p>1 今年度の目標（学校の約束）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 河合地区の環境、地球環境について学習します。 ② 水や電気などの資源を大切に使います。 ③ 地区と連携して、清掃活動やゴミの減量・リサイクルに努めます。 	
<p>2 取組内容</p> <p>① 環境学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3年生は、校外学習でスーパーに行き、スーパーで実施されているリサイクルの取組を知り、ワークシートにまとめ、興味・関心をもつことができた。 ・ 4年生は、クリーンセンターや浄水場の見学を通して、ごみ収集後の工程や自分たちが使用している水について学習し、「ごみの分別」「節水」に対する意識を高めることができた。 ・ 6年生は、理科の授業で、『地球に生きる』人と環境のかかわり・環境を守ることを学習した。「これから生きていくためには自分たちはどうしないといけないのか」について考え、SDGs(持続的な開発目標)を利用して、クラスで「私の行動宣言」の発表をした。これらの学習から、環境問題について関心をもつことができた。 ・ 図書委員会が「環境の本コーナー」を設置したり、読書すごろくの項目に「環境の本を読む」を加えたりして、環境や環境保護についての興味・関心を高めることができた。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>② 節電・節水等の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 美化委員会が、使用していない教室や廊下、トイレの照明をこまめに消す（節電）、水を出しっ放しにしない（節水）について全校に呼びかけ、節電・節水のポスターを掲示して、節電・節水の意識を高めることができた。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>	

③地域と連携して分別回収・清掃活動

- ・空き缶の回収を家庭・地域に呼びかけて行いました。
- ・美化委員会がポスターを掲示して、ごみの分別を呼びかけた。
- ・美化委員会が、各教室に古紙回収ボックスを設置して、回収した。



★ ESDポイント（取組内容の内、1項目についてESDの視点を取り入れたポイントを記載して下さい。）

①の環境学習の時間では、校外学習や総合学習の時間において、いろいろな環境問題を知り、その原因やなくすためにはどうすればよいのかを考えることで、問題や現象の背景についての理解を深めることができた。（多面的・総合的に考える力・つながりを尊重する態度）

【具体的効果】

- ① 3年生は、スーパーマーケットに行き、リサイクルへの取組を学ぶことで、スーパーマーケットなどの施設もエコ活動に取り組んでいることを知ることができた。
- ② 6年生は、地球と環境のかかわりを学習し、目標と決意を発表することにより、自分の生活と全世界の環境の問題の繋がりを知り、自分たちでもできることがあることを再認識できた。

3
見
直
し

【改善点】

- ・学校周辺には、水田や川など自然豊かな場所が多くあるので、地域の水に関する学習をすることで、児童はより興味をもって取り組むことができ、地域学習にもつながったのではないかと思う。
- ・学校周辺の水田や川には、時折ごみが浮いていることもあり、ごみについての環境問題にも取り組むこともできたのではないかとも思う。
- ・本校では各地区の育成会を中心に資源回収活動も行っている。この活動に、なるべく児童が参加しその成果を発表できる機会があるとリサイクルが身近に行われていることを再確認する機会になるのではないかと思う。